

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	奨学金返済負担支援事業										事業コード	050101202301				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	1 地域経済を支える産業の振興							
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進								施策コード	811					
事業担当	所属	250500 産業部産業課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	05 労働費		項	01 労働諸費		目	01 労働諸費		会計	01 一般会計		決算附属資料	157		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市奨学金返済負担支援事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○市内中小企業等の人材確保と福知山公立大学、舞鶴工業高等専門学校の卒業生の市内就職促進を目的として、令和5年度に新規事業として制定した。 ○令和6年度に対象者を高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)を卒業した者とするなど拡充を図った。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 制度の拡充により対象者が出てきたものの、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入する市内中小企業等が少ないため、依然として対象者が少ない。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内中小企業等の人材確保を支援するとともに、京都府北部の高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)の卒業生の市内就職の促進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)の卒業生を対象に、事業内容(補助金制度)を就職イベントや市内の高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)へチラシ配架などの方法で周知する。 ○市内中小企業者向けにも引き続き、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業の導入企業への訪問による周知や、就職イベントでのチラシ配架による周知を行う。					
対象者	市内事業者		対象者数	3,842	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	600		600		534		0						
	② 補正予算	0		1,028		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		600		1,628		534		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	300		300		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	300		1,328		534		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	600		1,628										
	③ 執行額	0		65										
	④ 執行率	0.0%		4.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00			/				
	② 概算人件費	1,280		1,280										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,280		1,345										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	奨学金返済負担支援事業基金繰入(ふるさと納税基金)		種類	基金繰入金		実績金額	64		決算附属資料	40		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	-	-	3			
	高等学校、高等教育機関(大学、短期大学、専門学校等)の市内就職者数	目標値		-	-	10	10	15	
		達成度		%	#VALUE!	#VALUE!	30%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	-	-	1			
	本制度利用事業者数	当初見込		-	-	3	3	15	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ○市内中小企業者等に対し、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入いただけるよう広報を行う。 ○京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入する市内中小企業者等に対し、福知山市奨学金返済負担支援制度を活用いただけるよう広報を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	○対象事業者を増やすために、本市が事務局として開催する合同企業説明会の参加企業へ本制度と京都府制度の案内を行い、本制度の対象要件となる府制度の導入事業者が令和5年度には3件、令和6年度には1件増加した。 ○本制度の拡充後も府制度を導入する事業者数が少ないため、申請件数が1件にとどまった。	
現状の課題 に対する 改善策	○合同企業説明会をはじめ、市内事業者が集まる就職イベントなどの場を活用し、市内事業者に対し積極的に制度の導入を呼びかける。 ○合同企業説明会に参加された市内事業者に対し、制度導入に関するアンケート調査を実施し、何が導入の妨げになっているのかを分析する。	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	長田野工業団地利活用増進計画企業交流プラザあり方検討事業							事業コード	070102202301				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興					
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進						施策コード	811				
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也					
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画				R7現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()												
関連事業	-												

背景(現状)
(3行程度以内)

※事業を実施する背景や事業における現状

- ・昭和49年には京都府長田企業会館として竣工した福知山市企業交流プラザは、築50年が経過し、雨漏りなどの施設の老朽化が進んでいる。
- ・令和5年には福知山市企業交流プラザを管理している一般社団法人長田野工業センターが設立50周年を迎え、一つの節目を迎えたところである。

※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ

- ・今後の福知山市企業交流プラザのあり方について、施設の更新を踏まえて議論を進めていく必要がある。
- ・施設更新にあたり、可能な限り今後のビジョンを示していく必要がある。

※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入）

・福知山市企業交流プラザは、これまで長田野工業団地立地企業や、従業員及び周辺地域の住民の利便施設として寄与してきたが、築50年が経過し、施設の老朽化がみられる。この事業では、長田野工業団地活用増進計画の重点事項の一つである「企業交流プラザあり方検討会」を開催し、今後の企業交流プラザの機能や規模など、施設更新の方向性を検討する。

※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること

- ・福知山市企業交流プラザあり方検討会を開催し、福知山市企業交流プラザの施設更新の方向性を議論する。
- ・上記検討会の議論の参考とするために、長田野工業団地立地企業とその従業員、長田野工業団地以外の市内企業に対してアンケート調査を実施する。
- ・上記検討会で議論された意見を提言書として取りまとめ、市へ提言する。

対象者	福知山市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他（ ）				

委託先・実施主体等	福知山市企業交流プラザあり方検討会
-----------	-------------------

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	231	福知山市企業交流プラザあり方検討会委員報酬			
	旅費	30	福知山市企業交流プラザあり方検討会費用弁償			
	役務費	2	福知山市企業交流プラザあり方検討会に係る郵送料			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,112	250	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		3,112	250	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	3,112	250	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 1,347	13		
	② 配当予算	1,765	263		
	③ 執行額	100	263		
	④ 執行率	5.7%	100.0%		
概算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.85 / 0.00	0.78 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	6,800	6,240		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,900	6,503		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	長田野工業団地利用増進計画企業交流プラザあり方検討事業(地域振興基金)	種類	基金繰入金	実績金額	263	決算附属資料	37	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	式	-	-	1			
	提言	目標値		-	-	1	-	-	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	100%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	-	2	4			
	福知山市企業交流プラザあり方検討会の開催回数			当初見込	-	3	3	-	-
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
令和5年7月1日に設置した福知山市企業交流プラザあり方検討会の検討委員を対象として検討会議を実施する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
				当初見込					
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・本市への提言が完了したということもあり、本事業は一定の役割を果たした。 ・提言を受け、令和7年度からは基本計画を策定するフェーズに入るが、多様なニーズに対応する場合には更新後の施設の規模が大きくなる可能性がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・計画策定の中で必要とされる施設の機能等に対して、施設の規模がオーバースペックとならないように検討・議論していく必要がある。	

(単位：千円)

事業名	企業交流促進事業							事業コード	070102320102		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進						施策コード	811		
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	173	頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	－										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	－										

[illegible]

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	540		540		540		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		540		540		540		0		
予算財源内訳	① 一般財源	540		540		540		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	540		540						
	③ 執行額	540		540						
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	/		
	② 概算人件費	480		480						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,020		1,020						
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	18	18	14			
		目標値		25	25	25	25	25	
	受発注率(市内発注/長田野総発注)		達成度	%	72%	72%	56%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	社	103	104	107			
	福知山企業交流会会員企業数								
		当初見込		110	110	115	115	120	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	会員企業に対して、長田野工業団地立地企業と市内企業の受発注率を向上するための受発注懇談会や先進地視察研修を実施。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・コロナ禍においてイベント等の実施の制限がある中で、主要事業である受発注懇談会が開催されるなど企業間の対面での交流などが再開。企業間のつながりにより今後の受発注率の影響への効果が期待される。 ・補助金の在り方は企業側のニーズに合わせて見直しを必要がある。 ・交流会の活動が受発注率にどれほど寄与しているか継続確認が必要。(令和5年度より受発注懇談会が再開され、長田野工業団地立地企業と市内企業の受発注率の向上が期待できるため、補助金額は現状維持で進めている)								
現状の課題 に対する 改善策	・福知山企業交流会の事務局である福知山商工会議所に対して、企業間交流や受発注率への影響について聞き取りを実施し、本事業の必要性について検討する。								

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

7

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	区画		2	2	0			
	アネックス京都三和分譲区画数		目標値			1	1	1	1	1	
			達成度		%	200%	200%	0%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	社	343	194	87				
	直接接触企業数		当初見込		300	300	300	300	300		
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・企業展への参加により多くの企業との接触を図る。 ・企業訪問及びアネックス京都三和の区画案内を実施する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
			目標値								
達成度			%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。											
活動内容② (アクティビティ)											

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・アネックス京都三和の工業団地PRが確実に誘致につながっている。 ・現在、アネックス京都三和では、15社の企業進出と24区画の譲渡により、北近畿の雇用の創出と地域経済の活性化を担っている。 ・実際の誘致につながるケースが少ないので、誘致活動の方法を模索していく必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・広く周知をするため、企業の設備投資に対する融資元となる金融機関に対しても、訪問やパンフレットの送付などPR活動を実施。 ・非対面での誘致活動として、金融機関のプラットフォームやHPの更新を実施。 ・一定の感触があった企業には定期的に電話等により接触を図っている。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	55	60	9			
		目標値		50	50	50	50	50	
		奨励金対象雇用者数	達成度	%	110%	120%	18%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	企業	6	4	4			
	奨励金交付企業	当初見込		7	7	7	7	7	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
・奨励措置の内容を本市HPで紹介。 ・設備投資が計画されている企業に対し、奨励措置の内容について紹介。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・本市の補助制度は、企業の新規立地や設備導入を促すことに効果的である。特に市内既存企業の場合においては、補助要件が緩和されることから増設を考える工場にとって利用しやすい制度となっている。 ・工業団地内の企業には浸透しているが、依然として団地外の市内企業からの問い合わせは少ない。	
現状の課題 に対する 改善策	・奨励措置については市内全域の工場が対象であるため、市HPでの広報の他に金融機関へも案内することでその活用を促していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	企業向け従業員住宅一般管理事業										事業コード	070102320304				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	1 地域経済を支える産業の振興							
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進								施策コード	811					
事業担当	所属	250500 産業部産業課						所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市三和町立地等従業員住宅条例、福知山市三和町立地企業等従業員住宅条例施行規則、普通財産フォレストサイドみわ(東棟)の管理及び運営に関する取扱要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・アネックス京都三和の従業員住宅である「ヴィラージュみわ」及び「フォレストサイドみわ」の老朽化が進んでいる。 ・どちらの従業員住宅も入居者が増えており、今後も引き続き利用される見込みである。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・老朽化が進んでいる箇所は修繕を実施し、必要に応じて設備の取替等を実施する必要がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・アネックス京都三和周辺に団地内企業向けの従業員住宅を整備することにより、団地企業の労働力確保の一助とするとともに、当該工業団地のセールスポイントの1つとして企業誘致の促進を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・ヴィラージュみわ及びフォレストサイドみわの入退去管理を実施する。 ・設備等環境整備の実施。										
対象者	アネックス京都三和立地企業従業員					対象者数	350		単位あたりコスト	7.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,542		1,495		1,455		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,542		1,495		1,455		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,542		1,495		1,455		0						
決算情報	① 流充用額	156		8										
	② 配当予算	1,698		1,503										
	③ 執行額	1,668		1,437										
	④ 執行率	98.2%		95.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.15	/	0.80	0.15	/	0.00			/				
	② 概算人件費	3,440		1,200										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,108		2,637										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	立地企業等従業員住宅使用料			種類	商工使用料		1,436		実績金額	決算附属資料	8		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	戸	14	21	21			
	入居戸数	目標値		26	26	26	26	26	
			達成度	%	54%	81%	81%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	343	194	87			
	直接接触企業数	当初見込		300	300	300	300	300	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
・企業訪問の際に従業員住宅のPRを実施するとともに、工業団地内の企業訪問の際にも改めて周知する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・企業誘致のインセンティブとして建設された住宅であり、工業団地周辺での住居の確保を担うことができている。 ・企業誘致の際には魅力の一つとして紹介しているので、継続的に入居されている方が多い。企業における新規採用者にとっても住居の選択肢の一つとなるよう継続的に情報発信する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・従業員の採用にあたり企業からも提案ができるよう、部屋の空き状況なども含めて定期的な周知を実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	長田野工業団地利活用増進事業(道路環境整備)										事業コード	080202120232				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	1 地域経済を支える産業の振興							
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進								施策コード	811					
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課						所属長	岡部 隆幸							
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計		決算附属資料	183		頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画					R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・通過車両等の視距不良を解消するため、これまで街路樹のせん定伐採が計画的に実施されてきた。 ・街路樹が成長することで歩道内に根が張り、路面に凹凸が生じているほか、街路樹せん定等の維持管理費用が増大なものになっている。 ・長田野工業団地造成時から設置されている街路灯が、経年劣化により腐食しており、転倒等による事故が発生する危険がある。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・街路樹が巨大化して枝葉が張り出し、通過車両等の視距不良が生じているため、解消する必要がある。 ・街路樹が成長することで歩道内に根が張り、路面に凹凸が生じているほか、歩道幅員が狭くなることによる通行支障を解消する必要がある。 ・街路灯が経年劣化により腐食し、転倒等の恐れがあり危険な状態であるほか、灯具がLED化していないものがある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 長田野工業団地内における街路樹について、繁茂により視距不良や横断幅員の減少及び根などによる路面の凹凸等が課題となっているため、長田野工業団地利活用増進計画に基づき、街路樹伐採等を行い団地内の交通環境の改善を図る。 また、経年劣化している街路灯等を更新することにより、安全な道路交通を確保する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・交通の支障となる街路樹を伐採することで視距不良を解消し、安全な道路交通を確保する。 ・歩道の幅員減少の問題となっている街路樹柵を撤去することで、歩道路面の凹凸解消し安全な歩行空間を確保する。 ・老朽化している街路灯の更新を行うことで転倒事故を防ぐほか、照明をLED化することで光量の増強を行い安全な道路交通を確保する。										
対象者	全市民					対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	32,870		29,560		17,865		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		32,870		29,560		17,865		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	32,870		29,560		17,865		0					
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,755									
	② 配当予算	32,870		27,805									
	③ 執行額	32,856		27,805									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.44	/	0.00	0.70	/	0.15	/					
	② 概算人件費	3,520		6,020									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		36,376		33,825									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	長田野工業団地地利活用増進事業(道路環境整備) 基金繰入(長田野工業団地公園緑地等事業基金)			種類	基金繰入金		実績金額	27,805		決算附属資料	35	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	箇所	0	0	0			
	街路灯の転倒などによる事故	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	0	7	6			
	街路灯柱更新数	当初見込		2	7	4	4	0	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	国道9号区域内にある老朽化した街路灯柱および灯具を更新することにより、安心安全な道路交通の確保を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	歩道内の街路樹については、計画的に管理することで道路環境の向上を図ることができているが、道路沿線の樹木や道路舗装や街路灯などの道路施設の老朽化が著しくなっていることから、計画的に更新や修繕等の対応が必要となっている。	
現状の課題 に対する 改善策	道路舗装の著しい損傷や街路灯の腐食、転倒等による事故を発生させないために、計画的に更新や修繕等を実施して行く必要があるが、長田野工業団地利活用増進計画の見直しや財源の確保等を行う必要がある。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	長田野工業団地利活用増進事業(緑地等環境整備)										事業コード	080404530259				
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	1 地域経済を支える産業の振興						
	施策名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進								施策コード	811					
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課							所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 公園管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	190		頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	都市公園法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	既設公園管理事業															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・適切な剪定や伐採等の維持管理は、企業の安定した操業環境を確保するために必要である。 ・長田野工業団地は建設から50年以上が経過していることから、樹木が巨大化しており、剪定や伐採等の要望を多数受けている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・計画的な伐採を進めてきているところではあるが、大規模な伐採・剪定等を実施すると、日当たりが改善されることから、今まで以上雑草が繁茂するため、その対策についても検討していく必要がある。 ・大規模な伐採・剪定等事業を実施した場合についても、樹木は再び大きくなっていくことから、状況を確認しながら定期的な維持作業が必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 長田野工業団地利活用増進計画に基づき、緩衝緑地等の樹木伐採を計画的に進め、企業の安定した操業環境の確保することを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・計画的な樹木伐採や剪定					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	伊東木材(株)、福知山地方森林組合					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	7,966	緩衝緑地樹木伐採業務			
	積立金	8,721	長田野工業団地公園緑地等事業基金積立金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	16,476		17,721		17,221		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
	小計(①～③)	16,476		17,721		17,221		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	16,476		17,721		17,221		0	
	決算情報	① 流充用額	1,287		0				
② 配当予算		17,763		17,721					
③ 執行額		17,763		16,687					
④ 執行率		100.0%		94.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.08	/ 0.00	0.10	/ 0.00	/		/	
	② 概算人件費	640		800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,403		17,487					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	長田野工業団地利用特種事業費(緑地等環境整備)基金繰入(長田野工業団地公園緑地等事業基金)	基金繰入金	7,966	決算附属資料	35	頁
		都市公園占用料	土木使用料	8,721		9	
			15				

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	0	1	0			
		目標値		0	0	0	0	0	
	倒木等による事故件数		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	6	9			
	伐採件数	当初見込		6	6	6	6	6	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
・計画的な樹木伐採や剪定									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・大規模な樹木伐採・剪定が必要な緑地は、増加傾向にある。 ・市の計画だけでなく、企業からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて、優先順位を決めて事業を実施している。 ・操業の妨げになっている樹木や、工場内に越境した樹木、企業から伐採要望が多い樹木等を中心に伐採・剪定を実施した。	
現状の課題 に対する 改善策	・企業の敷地内に侵入し操業の妨げとなっている樹木、倒木の恐れがある樹木など、緊急性や危険度を総合的に判断し、優先順位を決めて事業を進める必要がある。 ・令和6年度においても、危険度や緊急性の高い緑地から優先的に事業を進める。	